

# 会長就任挨拶

この度、令和4年6月12日の理事会にて3期目の会長の任を仰せつかりました。

2018年に会長に就任して2020年より支部制を導入し、COVID-19感染拡大の中、関係者の皆様のご協力を得ながらようやくwithコロナという体制に代わりつつあり本来の活動再開が見えてきたところです。支部設立当初目標としてきた「北海道内の臨床工学技士のつながりの強化と活性」ですが、新たなりモート時代により北海道内だけではなく全国とつながることがWEBにて可能となりましたが、WEBにも限界があり一方的な発信には十分な効果はありますが、相互的な交流にはお互い一歩踏み込めなく、初見同士の交流には一層の物足りなさを感じたのではないのでしょうか？

今年度からは本来の対面とリモートをうまく使い分け当初の目標「北海道内の臨床工学技士のつながりの強化と活性」を進めたいと思いますので道臨工の事業に積極的に参加していただければと思います。

第7期役員として私自身が掲げる目標としまして、支部と本部の関係性を強固にするために代議員制を導入して、支部代議員、支部理事の制度を作りたいと思っております。

現在の理事定数が少なく、石狩支部以外の所属理事は道北、道南、釧根、日胆の4名だけなので各支部に理事を置くことにより、理事会へ地方の意見や問題点が届きやすくなるかと思っています。

理事間の情報共有として、通常の理事会とは別に昨年度より常務理事会を毎月行い委員会や支部活動の進捗や問題点などに対してメール協議だけでなくリモート会議にて協議する場を設けました。

第7期は新任理事も多数就任しましたので情報共有と新しい意見を取り入れながら、理事会の活性に努めたいと思います。

もう1点私の目標として掲げさせて頂くのが職能団体としての北海道臨床工学技士会と全国臨床工学技士会とのつながりです。第30回北海道臨床工学会（2019年11月開催）での日本臨床工学技士会本間理事長の特別記念講演で北海道の日臨工加入率は全国ワースト1であるとの話をいただきました。昨年末より告示研修受講のために道臨工、日臨工入会が例年より多い感じはありますが、道臨工会員で日臨工会員は50%に至らない入会率となっており、全国と比べると圧倒的な低値であると言えます。これは告示研修の実技研修開催地誘致にもつながる話だと思っています。現在北海道では年1回100名の実技研修枠は確定していますが道臨工会員1400名には全く不足だと思っており、今年度については臨時開催枠を交渉し2回開催することが決まっております。日臨工入会率を上げるための取り組みも検討し、臨床工学技士の地位向上に寄与できるよう活動を検討したいと思います。

最後に、臨床工学技士養成校のカリキュラムが学校養成所や臨床実習施設の教育の質の向上を求める内容として改正されました。実習受け入れ施設については所定の「臨床実習指導者講習会」の受講が必須となります。医療法改正による告示研修受講と合わせて北海道内の臨床工学技士の質向上のために尽力いたしたいと思っておりますのでよろしく申し上げます。

大宮 裕樹